第５回

字幕付きでCMをオンエア!

電通　コーポレートオフィス　チーフ・ディレクター　兼
電通西日本　常務執行役員　グロースプランニングセンター長
沼澤　忍

本年6月より「字幕付きCM PORTAL WEB SITE」（https://www.jaaa.ne.jp/jimaku_cm_portal/）を公開しました。これまで字幕CM協議会でまとめた「字幕付きCMハンドブック」をはじめ、「YouTube字幕CMチャンネル」など、制作に役立つ字幕情報のノウハウを網羅した便利な情報の集約ページです。

また、7月に改訂された「字幕付きCM搬入基準（テレビCM搬入基準内）」もUPしています。

ポータルサイトには、字幕付きCMの効果に関し、最新の調査情報を追加しました。「字幕付きCMに対する評価、効果等に関する調査2022」の報告書、及び調査結果に基づいたプレゼンテーションツール（PPTデータ、PDF）です。

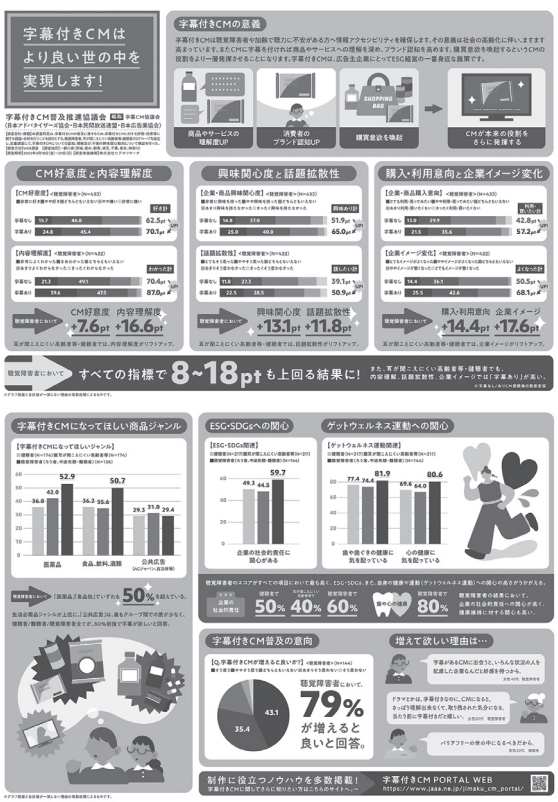
字幕CM協議会では、改めて字幕付与の効果や字幕付きCMへの評価を測るべく、株式会社ビデオリサーチの協力の元、2022年3月にWEB調査を行いました。

今回は、実際に制作された字幕付きCMの効果・評価等を調査・分析しました。調査対象には「聴覚障害者、耳が聞こえにくい高齢者等、健聴者」の3グループを設定し、定量調査で、字幕付きCMの認知、理解及び、今後の興味関心動向について検証しました。その結果を基にチラシを作成「字幕付きCMはより良い世の中を実現します!」という表題を掲げて、①CM好感度と内容理解がUPする、②CM企業（商品）への興味関心と話題拡散性がUPする、③購入・利用意向と企業イメージがUPする、といずれも明快に「効果あり」という結果を掲載しました。マーケティングツールとして字幕付きCMは機能することが、最新の調査上も裏付けられたと考えます。

フリーアンサーでは、聴覚障害者の方から「字幕があるCMに出会うと、いろんな状況の人を配慮した企業なんだと好感を持つ。」「ドラマとか（番組）は字幕付きなのに、CMになると、（字幕がなく）さっぱり理解出来なくて、取り残された気分になる。当たり前に字幕付きだと嬉しい。」という声があり、字幕付きCMに対する期待を感じ取りました。さらに、耳が聞こえる若い世代から「バリアフリーの世の中になるべきだから。（男性 30代健聴者）」という声もあります。今の世の中でバリアフリー、どんな人々も等しく情報に接する環境を作ることに躊躇すべきでない、と考える若い世代が増えているのです。CMを作る企業の方々には、ぜひ、SDGsの言うところの、誰一人取り残さない世の中を実現するためにも、字幕付きCMに取り組んでいただければと思います。

JAAA会員広告会社の皆さんも、この調査結果報告書、プレゼンテーションツール（チラシデータ）を有効に活用して、広告主の方々に字幕付きCMの有効性をご提案ください。

なお今後広告会社の方々を対象に、説明会も準備しています。サイトをご覧いただき、ご参加ください。



※プレゼンテーションツール（PPT/PDF）調査報告書は、
字幕付きCM PORTAL WEB SITEで、ダウンロードができます。
https://www.jaaa.ne.jp/jimaku_cm_portal/

（ご質問は事務局　info@jaaa.ne.jp まで）